

タスクフォース及び人材・リテラシー分科会における 検討状況について

平成29年3月24日
事 務 局

タスクフォースの開催状況

第1回会合(9月29日開催)

- 本タスクフォースの開催について
- 構成員からのプレゼンテーション
 - ・谷川座長代理「地域におけるIoT社会実装」
 - ・田澤構成員(働き方)「ふるさとテレワークの実装と横展開～企業と地域がつながる効果の重要性～」
 - ・野口構成員(農林水産業)「スマート農業モデルの地域実装に向けた取組」

第2回会合(10月19日開催)

- 地域IoT実装推進ロードマップ(案)について
- ロードマップの実現に向けた推進方策について
- 構成員からのプレゼンテーション
 - ・佐藤(昌)構成員(教育)「教育IoTの今と未来」
 - ・佐藤(賢)構成員(医療・介護・健康)「地域の医療・介護・福祉提供体制から見たEHR/PHR実装と広域連携」
 - ・山内構成員(自治体)「自立に向けた海士町の挑戦」

第3回会合(12月8日開催)

- 地域IoT実装推進ロードマップ取りまとめ
- ロードマップの実現に向けた第一次提言

第4回会合(2月24日開催)

- ロードマップの実現に向けた取組状況について
- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・米良構成員「クラウドファンディングについて」
 - ・(公財)日本財団工藤氏「新たな官民連携の仕組みソーシャル・インパクト・ボンドについて」
- ロードマップの実現に向けて検討を加速すべき事項について

1. 早急に推進すべき事項

- 地域IoTの実装には、その実施主体である自治体、関係団体、民間企業等が、様々な形で連携してネットワークを形成し、一丸となって取り組んでいく必要。このため、“縦”、“横”、“斜め”の総合的な推進体制の確立に向けて、早急に行動を開始すべき。

(1) 各分野の機運を高める“縦の糸”

- 地域IoTの実装は、各分野の主要なプレイヤーが、自ら地域IoTへの意義や理解を深め、主体的に行動を起こしていくことが重要。このため、ロードマップの主たる分野ごとに、関係する府省、団体等を中心とした推進体制を確立すべき。

(2) 地域間の協奏を進める“横の糸”

- 先進的な自治体が、協力する民間企業等とネットワークを形成し、先導的な取組を進めるとともに、こうした成果等を全国の自治体に提供し取組を喚起することにより、全国の地域へと波及させていくことが重要。
- このため、官民連携の全国ネットワークと自治体間の情報連携体制を構築すべき。

(3) 分野横断的に地域を紡ぐ“斜めの糸”

- 地域ごとに、分野横断的に様々なステークホルダーが一丸となって、地域の特性を踏まえつつ、取組を進めていくことが重要。このため、地域ごとに、自治体、関係団体、民間企業等の民産学官の緊密な連携を実現する体制を確立すべき。

2. 検討を加速すべき事項

- ロードマップを円滑に実現するための基盤となる、次の事項について、検討を加速し、速やかに具体化を図るべき。
 - ① 地域における自律的実装:国や自治体による支援とともに、地域による自律的・持続的な運営の仕組みの確保
 - ② ICT人材の確保:現場で活躍する地域ICT人材と高い専門性を有する地域外のICT人材の活用方策
 - ③ 地域資源の有効活用:地域におけるデータ利活用やシェアリングエコノミーに関する促進方策

3. フォローアップ

- ロードマップの進捗のフォローアップを行い、状況に応じて、ロードマップの改訂及び目標の達成に向けた施策の改善を図るべき。

- 地域IoT実装推進タスクフォースにおける提言を受け、地域IoTの実装推進に向けて、“縦”、“横”、“斜め”の総合的な推進体制を確立していく。

縦の糸

【想定参加メンバー】

関係省庁、関係団体等

- 関係省庁、ICT関連推進団体、分野別の業界団体等との連携体制を構築

※既存の連携体制がある場合は、その場を活用。

横の糸

【想定参加メンバー】

地方自治体、民間企業、関係団体等

- 地域IoTの実装に意欲的な自治体と民間企業等とのネットワーク構築を想定
- 全国知事会・全国市長会・全国町村会等と連携して、ロードマップの周知、実装に際しての課題やロードマップ改訂に関する意見交換等を実施

斜めの糸

【想定参加メンバー】

地方自治体、民間企業、関係団体、大学、市民、NPO 等

- 各地域ブロックに設立されている情報通信懇談会等において、
 - ① 地域IoT実装の取組状況の把握、
 - ② 地域特性を踏まえて重点的に推進すべき実装モデルの検討推進
 - ③ 実装推進に向けた課題への対応策、普及策に関する意見交換等を実施

地域IoT実装推進に関する地方自治体向け説明会等の開催（本年1月24日～）

- ロードマップへの理解醸成、推進体制への参加、地域におけるIoT実装等を後押しするため、1月24日以降、都道府県・市町村を対象とする説明会等を開催。

地域IoT実装推進に関する地方自治体向け説明会の開催状況

- 本年1月20日より地域IoT実装推進に関する地方自治体向け説明会等を開始。
- 19の県、11の地域ブロック等に対して合計33回の説明会を開催済。(平成29年3月24日現在)

<説明会等開催状況>

開催日	開催箇所	開催概要
1月20日	石川県	北陸情報通信協議会 イノベーションワーキンググループ
1月24日	香川県	地方自治体向け説明会
1月25日	全国市長会	全国市長会行政委員会
1月25日	総務省	全国都道府県財政課長・市町村担当課長合同会議
1月25日	宮城県	東北地域ICT利活用セミナー
1月26日	沖縄県	沖縄地域ICT利活用セミナー
1月27日	奈良県	地方自治体向け説明会
2月2日	東京都	関東地域ICT利活用セミナー
2月3日	広島県	中国情報通信懇談会顧問会議
2月6日	広島県	地方自治体向け説明会
2月7日	滋賀県	地方自治体向け説明会
2月14日	長崎県	地方自治体向け説明会
2月15日	熊本県	九州地域ICT利活用セミナー ※米田構成員参加
2月16日	山梨県	地域IoT実装推進セミナー ※関(治)構成員参加
2月16日	三重県	地方自治体向け説明会
2月16日	佐賀県	地方自治体向け説明会
2月17日	和歌山県	地方自治体向け説明会

開催日	開催箇所	開催概要
2月17日	富山県	地方自治体向け説明会
2月20日	オープンガバメント・コンソーシアム	オープンガバメント・コンソーシアム シンポジウム2017 ※須藤座長参加 ※太田総務大臣補佐官説明
2月21日	愛知県	東海情報通信フロンティアセミナー
2月22日	高知県	四国地域ICT利活用セミナー ※山内構成員参加
2月24日	石川県	北陸地域ICT利活用セミナー
3月6日	広島県	中国地域ICT利活用セミナー
3月6日	徳島県	地方自治体向け説明会
3月8日	山形県	地方自治体向け説明会
3月8日	大阪府	近畿地域ICT利活用セミナー
3月9日	福島県	地方自治体向け説明会
3月15日	宮城県	地方自治体向け説明会
3月15日	長野県	信越地域ICT利活用セミナー・地方自治体向け説明会
3月16日	北海道	北海道地域ICT利活用セミナー・地方自治体向け説明会
3月22日	福岡県	地方自治体向け説明会
3月24日	熊本県	地方自治体向け説明会
3月24日	熊本県	テレコム振興センター九州地域情報化研究部会

⇒4月以降も順次開催

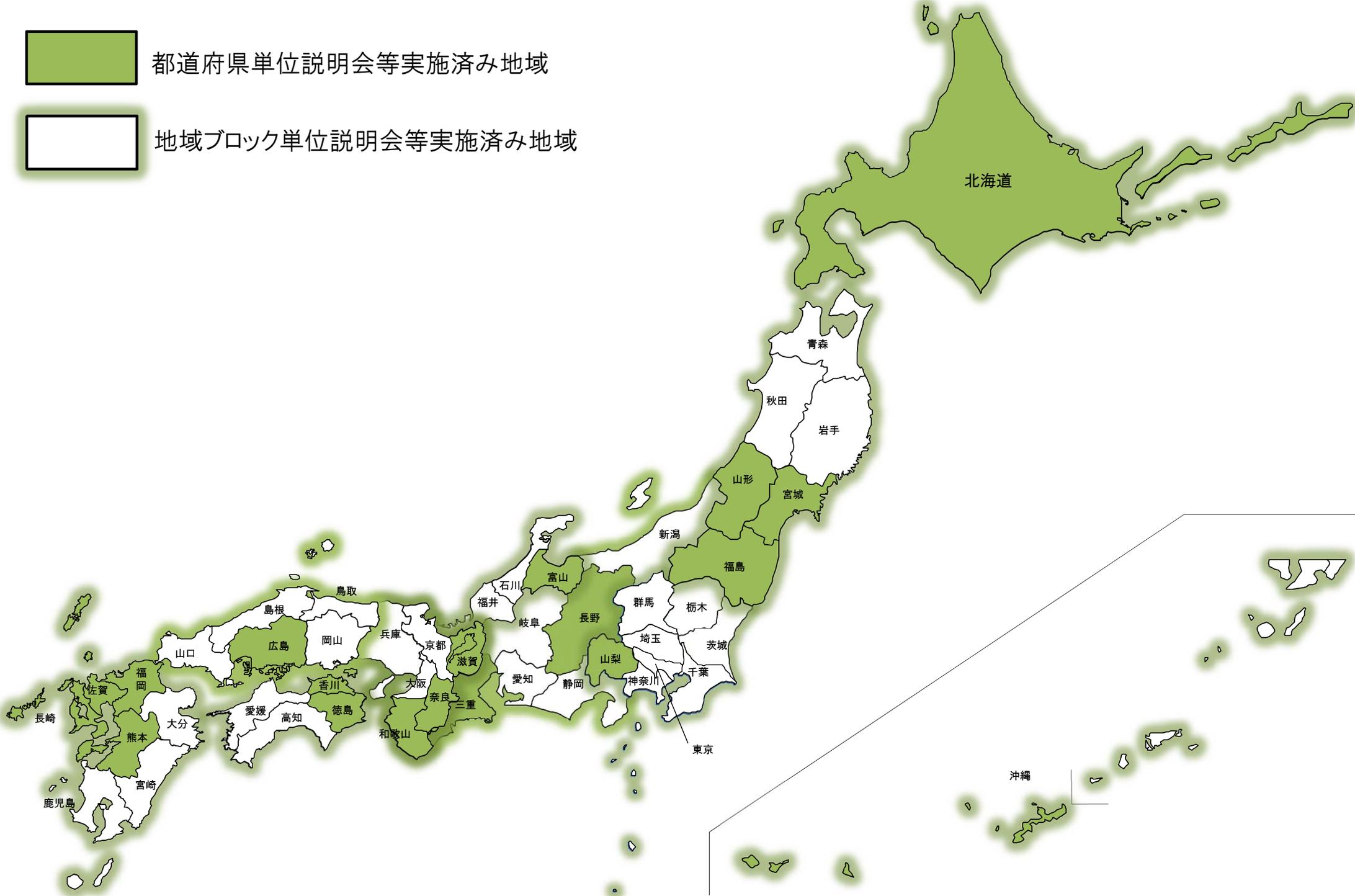
地域IoT実装推進に関する地方自治体向け説明会等 開催状況



都道府県単位説明会等実施済み地域



地域ブロック単位説明会等実施済み地域



(地域における自律的実装の在り方について)

1. 国等による財政等の支援

- ✓ 財政・税制面での支援について、総務省及び他府省の支援メニューを明確化し、地域の関係者に提示すべきではないか。
- ✓ 現在実施している支援メニューについては、今後も引き続き実施するとともに、昨年12月に策定されたロードマップも踏まえ、地域IoT実装に係る財政面での支援メニューについて、その充実を図っていくべきではないか。
- ✓ また、地方自治体向け説明会等を通じて聞き取ったニーズを踏まえつつ、実装自体への支援にあわせて、地域IoT導入に係る計画策定等のノウハウ共有・取得支援や専門家派遣・地域人材育成等の人的支援についても行うことができるよう、地域IoTの実装に取り組む団体に対して総合的な支援を行うような環境を整備すべきではないか。

2. 地域における自律的・持続的な運営の仕組みの確保

- ✓ 地域における自律的・持続的な運用や地域の中小・ベンチャー企業の活力を引き出す仕組みとして、地域金融機関の活用や、クラウドファンディング・ソーシャルインパクトボンドなど、地域のポテンシャルを引き出す新たなファンディング手法の活用が有効なのではないか。
- ✓ このような観点から、新たなファンディング手法について、地方自治体と事業者や資金提供者をマッチングする場を設けるべきではないか。
- ✓ また、地域IoTの実装に係る民間手法の導入モデルを整理し、活用を促していくべきではないか。

- 構成員等からのプレゼンテーションにおいて、新たなファンディング手法として期待される「クラウドファンディング」「ソーシャルインパクトボンド」の地方自治体と連携した取組の可能性について紹介があった。

クラウドファンディング

自治体との取り組み(1)



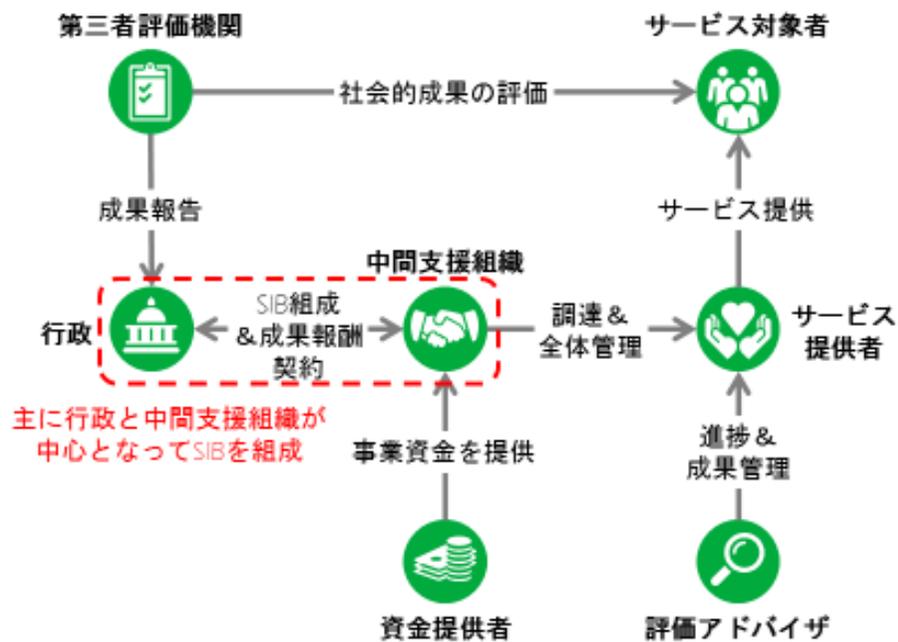
宮城県と「食と農」の分野における事業者の応援としてクラウドファンディングを展開



【出典】米良構成員提出資料

ソーシャルインパクトボンド

主なSIB推進体制



【出典】公益財団法人日本財団工藤七子氏提出資料

人材・リテラシー分科会について

- 近年、住民との協働による公共サービスの課題解決の活動等、人材活用の面でも新たな潮流が生まれており、その重要度はIoTの進展によりますます高まることを踏まえ、不足するとされる地域のICT人材を共有・育成するための仕組みや、高齢層・若年層を含むリテラシー向上に向けた推進策等について検討を行う。

<主な検討課題>

- ✓ ICT人材の不足を踏まえた、地域におけるICT人材の質的・量的拡大や共有等の推進策
- ✓ 地域における平時・有事の人的支援のあり方
- ✓ IoT時代におけるリテラシー向上(プログラミング教育、講習会等)への対応 等

構成員

安達 俊久 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
特別顧問

石島 真奈 ヤフー株式会社
社長室コーポレート政策企画本部 本部

上瀬 剛 株式会社NTTデータ経営研究所
社会システムデザインユニット長・パートナー

近藤 則子 老テク研究会 事務局長

佐藤 昌宏 デジタルハリウッド大学大学院 教授

関 治之 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事

中邑 賢龍 東京大学先端科学技術研究センター 教授

松田 孝 東京都小金井市立前原小学校 校長

毛利 靖 つくば市総合教育研究所 所長

(主査) 森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター 教授

<IoT時代における新たな取組の例>

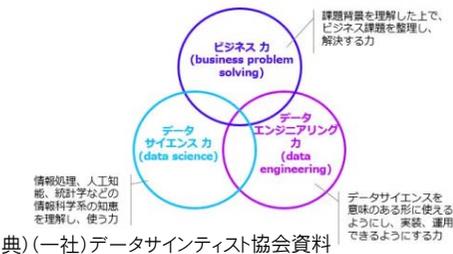
民産学官連携によるIoT人材の有効活用

ICTを駆使して地域の課題を解決するCivicTech



データサイエンティスト育成の産学連携講座

データサイエンティストに求められるスキルセット



高齢層・若年層を含むリテラシー向上の取組

高齢者向けICT講習



プログラミング教育



人材・リテラシー分科会の開催状況

第1回会合(10月21日(金)開催)

- 本分科会の開催について
- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「IoT分野の人材育成動向と課題～IT人材白書より～」
 - ・一般社団法人データサイエンティスト協会「協会の概要説明とデータサイエンティストのスキルセットについて」
 - ・全国地域情報化推進協会(APPLIC)「総務省地域情報化アドバイザー制度及び自治体CIO研修等について」
 - ・関構成員「Code for Japanの活動紹介 -ともに考え、ともにつくる-」

第2回会合(11月22日(火)開催)

- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・上瀬構成員「地域別IoT人材の現状と課題」
 - ・武城氏(埼玉県行政ITアドバイザー)「自治体ICT人材のこれから」
 - ・石島構成員「災害時におけるICT面の支援」
 - ・松田構成員「IoT発信！学校現場の事実とこれから」

第3回会合(12月9日(金)開催)

- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・株式会社ダンクソフト 星野氏「地域ICT人材 働きかたの未来」
 - ・安達構成員「地域IoT実装推進タスクフォース 人材・リテラシー分科会」
 - ・毛利構成員「つくば市のICT教育の取組」
 - ・近藤構成員「高齢者のICT利活用の課題と対策2016」

第4回会合(1月12日(木)開催)

- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・立命館大学 上原教授「地域におけるセキュリティ・プライバシー人材」
 - ・中邑構成員「IoT時代における障害者・高齢者の社会参画の促進」
- 地域IoTにおける人材・リテラシー面での対応策(論点整理案)について

第5回会合(2月23日(木)開催)

- 構成員等からのプレゼンテーション
 - ・株式会社ハーツユニテッドグループ「ICT人材の育成に関する弊社の取組について」
 - ・佐藤構成員「IoT時代における社会人の学びの新潮流ースキル転換ー」
- 人材・リテラシー分科会報告骨子(案)について

第6回会合(3月16日(木)開催)

- 人材・リテラシー分科会報告(案)について

- 地域IoTの着実な実装を支える人材の育成・活用の取組を加速するため、**主要ターゲットを明確にした包括的プラン（地域IoT人材創造プラン）**を策定。
- ①IoT時代に必要なスキルへの転換、②地域や産業の枠を超えた人材の共有、③全ての一般ユーザのリテラシーの向上の3つを軸にしたプログラムにより、PDCAを確保しつつ、各種施策を着実に推進。

課題

- ・ 地域IoTの基盤を支え、ビジネスモデルを創造する高度人材
- ・ 地域IoT実装の現場を牽引する、サービス・業務の革新人材
- ・ IoT社会を理解して受容し、積極的に利活用する地域人材



地域IoT人材創造プラン

プログラム及び個別施策の
関連付け・事例共有に配慮

スキル転換プログラム

人材シェアプログラム

リテラシー強化プログラム

IoT時代に必要な
スキルへの転換

グローバルな高度人材
のスキルアップ
【ICT企業、起業家】

地域のサービス提供者
のスキルシフト
【自治体、ユーザ企業】

地域や産業の枠を
超えた人材の共有

地域IoT人材のシェア
【自治体、地域企業】

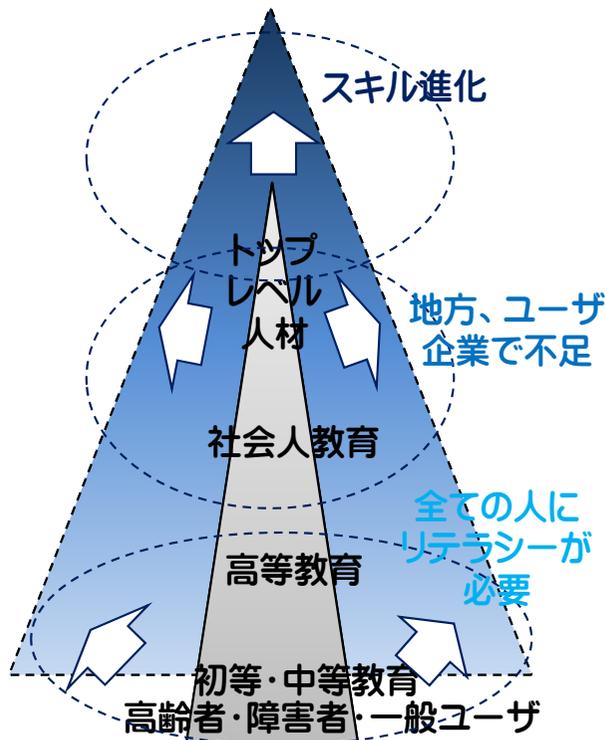
地域IoT人材の
流動性の向上
【ICT企業】

全ての一般ユーザの
リテラシーの向上

高齢者など一般ユーザ
のリテラシー向上
【自治体、企業等】

学校や地域における
IoT教育の充実
【学校、自治体】

就業等を契機とするスキル習得の継続



スキル転換プログラム

IoT時代に必要なスキルへの転換

ネットワークスキル

セキュリティスキル

ソフトウェアによるネットワークの運用・管理 (SDN/NFV等) 等

若手セキュリティエンジニアの育成、2020年東京大会に向けたセキュリティ演習 等

【主要ターゲット：ICT企業、起業家】

データ活用スキル

IoT技術スキル

オープンデータテストベッドの整備、自治体研修の全国展開・教材の開発 等

IoT利活用スキルセットの策定と講習会等の推進、CYDER演習の全国展開 等

【主要ターゲット：自治体、ユーザ企業】

人材シェアプログラム

地域や産業の枠を超えた人材の共有

高度人材の共有

交流・協働の促進

人材の実態把握とDB等の整備、地域情報化アドバイザーの派遣分野の重点化・派遣地域の拡大 等

地域IoTの実装に意欲的な自治体と民間企業等とのネットワークによる参照モデルの構築 等

【主要ターゲット：自治体、地域のユーザ企業】

ICT企業→ユーザ企業

都市部→地方

企業におけるIoT・セキュリティ人材の雇用比率等の実態把握と目安の公表 等

ふるさとテレワーク・お試しサテライトオフィスの推進 等

【主要ターゲット：ICT企業】

リテラシー強化プログラム

全ての一般ユーザのリテラシーの向上

学校・地域におけるIoT教育

高齢者等のリテラシー強化

地域クラブ活動など課外における高度な学習機会の充実 等

若年層向けに開発したプログラミング教育モデルの社会人・高齢者等への応用 等

【主要ターゲット：学校、自治体】

【主要ターゲット：自治体、企業等】

就業等を契機とする
スキル習得の継続

初等・中等教育、高齢者、障害者、一般ユーザ

※プログラム及び個別施策の
関連付け・事例共有に配慮